

～自然豊かな琵琶湖で獲れた「琵琶湖八珍」をはじめとする湖産魚介類の販路拡大にチャレンジする人材を探しています！～

【事業所紹介】

滋賀県漁連は、漁業者が作る協同組合の県域組織です。水協法に基づき設立された組織で漁業者の生活向上のために運動する指導事業は、県漁連の特徴ある活動です。

- 事業所番号：2501- 1239-0
- 設立年：昭和25年
- 就業場所：大津市におの浜4丁目4番23号
- 従業員数：職員数23名（うち女性10名、臨時・嘱託7名）
（南郷水産センター担当：7名、醒井養鱒場担当：9名）
- 事業内容：組合指導、流通改善、水産増殖、環境保全他



滋賀県漁業協同組合連合会

組織と主な事業

総務部

- 購買事業他
- 漁業後継者育成対策事業・・・青壮年漁業者への協力・支援
- しがの漁業担い手確保体制整備事業・・・新規漁業就業者への研修・支援

指導部

- 資源回復計画活動推進事業・・・ニゴロブナ・セタシジミ等の資源管理
- 漁場改善事業・・・水草根こそぎ除去（ほか）
- 外来魚駆除対策事業・・・オオクチバス・ブルーギルなどの駆除
- カワフ被害防除対策事業・・・防鳥糸によるアユ産卵親魚保護



増殖部

- 増殖事業・・・ピワマス・ニゴロブナ等の種苗生産放流（ほか）

観光流通部

- 流通改善事業・・・淡水魚販売・学校給食への提供（ほか）
- 南郷水産センター運営事業



養殖観覧部

- 滋賀県醒井養鱒場指定管理事業・・・ニジマス・アマゴ・イwana（ほか）

「琵琶湖八珍」とは、琵琶湖の特徴的な魚介類である、ピワマス、ニゴロブナ、ホンモロコ、イサザ、ゴリ、コアユ、スジエビ、ハスの計8種で構成されています。また、琵琶湖では他にもセタシジミといった琵琶湖固有のシジミやウナギなどのおいしい食材が漁獲されます。



琵琶湖で最も多く獲れる魚種はアユで、アユ種苗の販売量は34,733千尾で全国1位（平成26年漁業・養殖業生産統計/農林水産省）を誇っています。

【澤田専務理事、地村部長に聞いてきました・・・】

Q1) 滋賀県漁業協同組合連合会（漁連）の仕事内容と特徴を教えてください。

A：漁連は、滋賀県内の漁業協同組合（漁協）を会員とする協同組合組織です。漁業者の生産性向上と漁協の発展向上を目的に組合指導・増殖・観光・販売・環境保全の5つの事業を行っています。

漁業は自然と向き合い、魚を追い求める仕事です。大切な水産資源を維持するために、稚魚の放流はもとより、漁場環境の保全や資源管理にも取り組んでいます。

Q2) 今後強化したい業務や取り組みがあれば教えてください。

A：琵琶湖の魚の消費拡大に向けた営業職能の採用強化を図りたいです。漁協と販売先をつなぐ大変重要なミッションであり、世界中で琵琶湖にしかない魚であるという特徴を活かし、県内、近隣府県にとどまらず、首都圏を含めた販路拡大を考えています。

Q3) 漁業の仕事をするうえでの心構えは何でしょうか？

A：漁業には不漁もつきものなので、自分の腕で稼ぐという意識が大切です。ただし、魚を獲りすぎると資源が減ったり、価格が安くなったりするので、関係者と相談するなどして操業することが重要です。また、琵琶湖は湖とはいえ、海と同じように荒波や強風で危険な場面が多々あるので、安全意識が重要であり、また助け合いの精神をもって他の漁業者との良好な人間関係を築くことが大切です。

Q4) 今後の販路拡大に向けて、漁連にはどんな方に応募して欲しいですか？

A：漁業者や色々なタイプの販売先との調整が必要になるので、年齢に関係なくコミュニケーションや交流が図れ、人当たりが良い方、また魚が好きで「儲かる漁業」に興味がある人材を探しています。



過去の求人内容

求人票記載の仕事内容（平成31年1月求人）

- 【淡水魚の加工・管理】：南郷水産センター
- 淡水魚の流通加工、調理（指導します）
 - 淡水魚の消費拡大（イベント開催時の対応等）
 - 淡水魚の集荷、配達
- （県内及び一部京都市内あり、軽保冷車等を使用）

求人票記載の仕事内容（令和1年10月求人）

- 【養魚飼育員】：醒井養鱒事業場
- マス類の飼育補助業務
 - ・ 給餌・池・注排水口の掃除
 - ・ 魚の選別、取り上げ補助
 - 工サ釣り場業務

